

令和8年度 交通信号工事士 実務試験解答例

合計 100点

問1 (50点)

工事内容 2点

交通信号灯器のLED化工事

自身の立場又は役割 3点

作業主任として機器取替作業指示

安全作業について留意した事項と理由 20点

作業高さが6mの位置となり高所作業車を使用する為、高所作業車の転倒、墜落災害防止に留意した。

具体的対策又は処置 25点

作業場所の地盤の確認、敷板の設置、アウトリガーの全張出し状態を確認し、有資格者にて操作を実施させた。

作業開始前に保安帽、墜落制止用器具の着用、使用工具の落下防止対策がされている事の点検確認を実施し着手させた。

問2 (25点×2=50点)

- ・玉掛け作業責任者は、使用する玉掛け用具の種類及び数量が適切であることを確認し、不適当と認める場合は、玉掛け用具の変更又は交換を行う。
- ・玉掛け作業責任者は、玉掛けの方法が適切であることを確認し、不適切な場合は改善を指示する。
- ・作業員は、玉掛け作業責任者の指示であっても、不安全な作業は絶対に行わない。
- ・用意された玉掛け用具で安全に行えることを確認し、改善が必要な場合は玉掛け作業責任者に玉掛け方法の変更、又は玉掛け用具の交換を要請する。
- ・合図者は、玉掛け作業及びクレーン等の性能を十分に理解しておく。
- ・長期間保管したワイヤロープを使用する場合は、外観に問題がなくても内部からの腐食による強度の低下には十分注意する。
- ・玉掛け用具の点検は、作業前だけでなく作業終了後にも行い、雨や粉じん等が防げる場所へ保管する。
- ・ワイヤロープにあっては定期的に専用グリースを使用して塗油を行い芯材に油を補充する。
- ・玉掛け用具であるワイヤロープ、繊維ロープ、繊維ベルト等、又はシャックル等の金具を用いて作業を行うときは、その日の作業を開始する前に、吊り荷に適した玉掛け用具を選定し、異常の有無について点検を行う。

- ・異常を認めたときは、直ちに補修する。
- ・ワイヤロープは、キンク、変形、さび、腐食等異常を認めたものは補修するか、又は使用を禁止するとともに使用を禁止したものは切断するなどして再び使用できないよう処置をする。
- ・シャックルは、本体に歪みや亀裂、ねじ部の摩耗、又はつぶれ等の異常がないことを確認し、アイボルト、ボルト及びピンについても本体と同様に点検を行う。
- ・変形や曲がり等の異常を認めたものは 使用を禁止するとともに、使用を禁止したものは再び使用できないよう処置をする。
- ・吊り荷の下には絶対に立ち入らない。
- ・荷が崩れても避難できる 安全な距離を確保しながら誘導する。
- ・吊り荷の上に落下するものを置かない。
- ・吊り荷の回転又は振れにより、建築物やクレーンのジブなどに接触 しないよう重量物や長尺物には介錯ロープを使用し、吊り荷を安定させる。

等